

JAグループで取り扱い始めました

建て替えに代わる新リフォーム

新築そっくりさん

住宅リフォーム業界全国売上ランキング 9年連続No.1 ※売上は「住友不動産新築そっくりさん」と「住友不動産リフォーム」の合計。
※平成16年～26年リフォーム産業新聞調べ

新築そっくりさん
実例

築60年

伝統家屋の重厚感と
現代の生活様式を
融合した住まい



まずは、無料建物診断から始めませんか？

古い住まいを本当に再生できるのか？ それとも傷みがひどくて建て替えをしなければいけないのか…。
まずは、私たちがしっかりと診断させていただきます。

1 床下調査

床下から、基礎や土台の状況やシロアリ被害の有無などを確認、診断します。



2 屋根調査

老朽化による割れや傷み・サビなどをチェックします。



3 総合診断

レーザー測定器で床や柱の傾斜をみたり、雨漏りの有無など、全体を診断します。



4 耐震診断

建物の地震に対する強さをコンピューターで数値化して診断します。



JAグループ栃木

お問い合わせはお近くの購買窓口にご連絡ください。

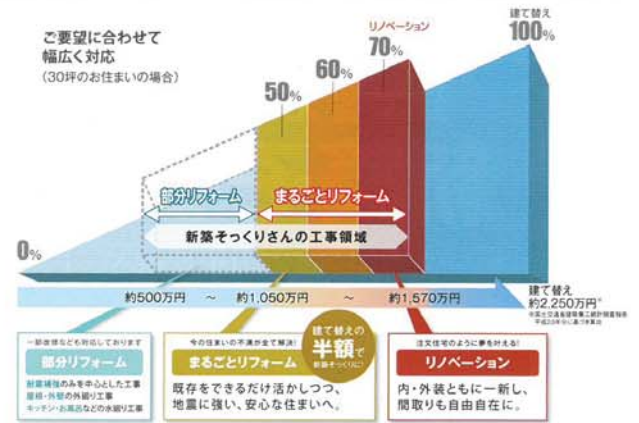
JA全農とちぎ

住友不動産

一信用と創造

建て替え費用との比較

「新築そっくりさん」では、図のように建て替えにかかる費用を100%とした場合、その工事の内容により約半額から70%までを中心に家づくりが行えます。お客様のご要望に合わせて、1階中心の部分リフォームから、家一軒まるごと工事まで幅広く対応しております。



建て替え費用の半額となる理由(イメージ)

■ 建て替えの場合

設計料	確認申請料	解体工事	←	本体工事	→	外構工事	屋外給排水工事	登記費用	約2,250万円～
-----	-------	------	---	------	---	------	---------	------	-----------

■ 新築そっくりさんの場合

1 設計料	2 確認申請料	3 部分解体工事	既存を活かす	3 本体工事	外構工事	屋外給排水工事	登記費用	約1,050万円～
-------	---------	----------	--------	--------	------	---------	------	-----------

①+②+③ = ④

「新築そっくりさん」は活かせる部分を活かすので、材料費などが、建て替えより大きく減らせます。また、その他の費用も削減できるので、これらをトータルすると大幅なコストダウンが可能なのです。

「新築そっくりさん」実例
築43年

天然木の
温もりが息づく
二世帯住宅



安心の8大特長

まだ使える基礎や柱を活かすことで、建て替えや部分リフォームよりも優れる数々のメリットを実現しています。

- 1 建て替え費用の半額^{※1}**
オリジナル部材の開発、大量発注によるコスト圧縮により、コストダウンを実現しています。
- 2 追加費用のかからない完全定価制^{※2}**
工事着手後に予想外の不具合が判明しても、追加費用は一切いただきません。
- 3 大地震に備え安心の耐震補強^{※3}**
建物全体をバランス良く補強し、防蟻・防湿処理も行いながら地震に強い家に耐えさせます。
- 4 住みながら工事で引越不要^{※4}**
各ゾーンごとに工事を行うので、何かと面倒な引越を省ける「住みながら工事」が特長です。
- 5 経験豊富な専属の施工統括者^{※5}**
豊富な知識と経験を持つベテラン棟梁が、お客様のご意見を伺いながら大切なご自宅を工します。
- 6 ご相談からお引渡しまで一貫して担当^{※6}**
現地調査、設計、施工管理から完成まで、一貫して一人のセールスエンジニアがお客様を担当します。
- 7 独自の充実した検査体制^{※7}**
専門部門が耐震補強や構造躯体について、住友不動産の厳しい品質基準を満たしているか検査します。
- 8 住友不動産ならではのお客様センター/アフターサービス^{※8}**
24時間365日受付の「お客様センター」や、定期点検でアフターケアも万全です。



工事された全国のお客様から

完全定価制に、「喜びの声」が届いています。

〈わかりやすい〉

北陸T様

定価制のシステムは、素人にはとても良く、わかりやすいと思います。定価制の中でも、こちらの要望に細かく対応していただき、大変満足のいく工事でした。

東京S様

価格体系が明確なので、仕様やグレードを変えたいと思った時に、判断がしやすかったです。

〈追加費用がない〉

奈良S様

リフォームは工事を開始してみないとわからないことも多くあると思いますが、どんな場合でも追加工事費を取らずに対処していただけるのは、すごく助かりました。

山梨I様

リフォームという商品考えた時、追加料金を取らないというシステムは、これ以上の出費はないという安心感がありました。

〈価格に満足〉

宮城W様

耐震補強工事が見積りに含まれている点や、追加工事費用がからない点を見ると安心でき、トータル的には他社より安いと思います。

神奈川T様

当初、新築を考えていましたが、調査の結果、既存の建物の土台・柱の状態が非常に良かったので、リフォームに切り替えました。価格も新築の半分で満足できました。

—信用と創造—
住友不動産
<http://www.sokkuri3.com>



家を
考える
ことは、
家族を
考える
こと。

新築そっくりさんの 完全定価制

ビジネスモデル特許取得済



ご契約いただいた金額で
完成の姿を
お約束するシステムです。



リフォームの常識に挑戦し続けて、20年

ビジネスモデル
特許取得済

完全定価制の新築そっくりさん

建築業界で常識となっている「見積制」。これって本当に**“安心”**ですか？

見積制

項目積み上げ方式

理解できてますか？細かく分厚い「見積書」

工事内容ごとに数量と単価を積み上げていく見積りは、建築業界では常識となっています。しかしながら、見積りのルールは会社によって異なり、専門家でさえも全てを理解することは難しい、いわば「業者用」のものです。それを、一般のお客様が理解することができるのでしょうか？さらに、工事が始まって、リフォームにつきもの予期しない事態が発生した場合、「見積書に入っていない」ということで、追加請求につながります。

見積制イメージ

材料費		人件費	
	【木材・ボード等】		【解体工事】
	【釘・ビス・接着剤等】		【内装工事】
	【サッシ・ガラス・ドア等】		【塗装工事】
	【クロス・コンセント・スイッチ等】		【管理費】
管柱(桧).....〇〇〇〇円×〇〇本		解体手間.....〇〇〇〇円×〇〇人工	
胴縁(杉).....〇〇〇〇円×〇〇本		造作手間.....〇〇〇〇円×〇〇人工	
釘・ビス・接着剤一式.....〇〇〇〇円		外壁貼り手間.....〇〇〇〇円×〇〇㎡	
サッシ.....〇〇〇〇円×〇〇ヶ所		内装手間.....〇〇〇〇円×〇〇㎡	
クロス.....〇〇〇〇円×〇〇㎡		

▶項目・専門用語が多く、理解しづらい見積り。

内容が細かく、項目が多い

▶一般の方には分かりづらい。

項目を積み上げるため、予期しない事態が発生した場合

▶追加費用の恐れが...



工事費用イメージ

完全定価制

ビジネスモデル特許取得済

ご契約いただいた金額で、完成の姿をお約束

新築そっくりさんが採用する「完全定価制」。これは、屋根・外壁・玄関・リビング・水廻り・耐震補強など、部位や工事内容ごと(※)に定価が決まられており、それらを組み合わせてご提示するものです。いわば、「ご提示した金額で、完成の姿をお約束するシステム」なのです。そのため、工事開始後に不測の事態が発生しても、追加費用は一切ございません。お客様にとっては契約金額=支払金額ということで、安心して工事を見届けていただけます。

完全定価制イメージ

屋根工事.....	〇〇〇〇〇円
外壁工事.....	〇〇〇〇〇円
玄関工事.....	〇〇〇〇〇円
LDK工事.....	〇〇〇〇〇円
洋室工事.....	〇〇〇〇〇円
水廻り工事.....	〇〇〇〇〇円
耐震補強工事.....	〇〇〇〇〇円

合計 〇〇〇〇〇円



部位・工事内容ごとの定価制なので、これ以上の金額にはなりません。

※リノベーションは、延床面積あたりの定価制です。

【完全定価制】は明朗会計です。

契約時の金額
(着工前)

= 最終の
お支払い金額

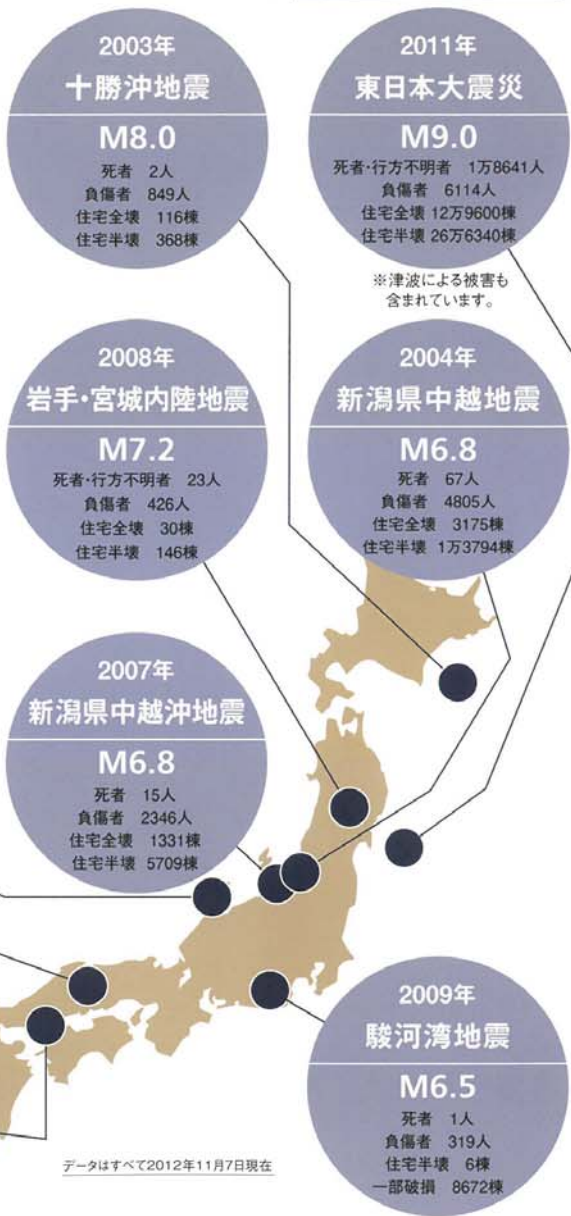
※お客様のご要望による工事内容の変更がない場合に限ります。

新築そっくりさんの耐震補強が地震からあなたの住まいを守ります

1995年1月17日早朝。突然起こった「阪神・淡路大震災」によって、多くの家々が倒壊し、たくさんの尊い命が失われました。その被害を目の当たりにした住友不動産は、当時開発中だった住宅再生システムに耐震補強を追加。一家はまず強くなければならない」というコンセプトを中心に据え、標準仕様で耐震補強ができる「新築そっくりさん」を開発しました。

新築そっくりさん発売以来の主な大地震

M=マグニチュード



▲新潟県中越地震 東日本大震災により、被害を受けられました皆さまにお見舞い申し上げます。 ▲東日本大震災 一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

約75,000棟の実績が強さの証明です

※2013年2月末時点の「新築そっくりさん」完工累計棟数

「新築そっくりさん」は、1996年の事業スタート以来、M6以上の大地震を主なものだけでも10回経験しましたが、「新築そっくりさん」で工事をしたお住まいで、倒壊、半壊した建物はゼロ(※※)です。耐震補強工事がお客様の生命を守りました。

※当社調べ(地盤沈下や津波による流出など部未確認の物件は含まれません)

【参考資料】 気象庁ホームページ、内閣府ホームページ、警察庁ホームページ

2011年3月 宮城県栗原市・S様
東日本大震災



写真の中ほどに見える食器棚は、棚の厚み分だけ増築してお手持ちの棚を壁の中にびったり収めました。その甲斐あって、今回の地震でも食器ひとつ壊れませんでした

3年前にあった地震では
外壁やタイルが壊れたのに
今回はほとんど被害なし



▲工事前、前回の内陸地震時は右のように被害が出ていましたが、工事した後に起こった東日本大震災では被害は出ませんでした



3月11日、S様ご主人は市内の病院におられたそうです。「ものすごい揺れで、手すりにつかまってもずっと体ごと揺れていました。余震が少しおさまってから、家が心配ですぐに戻りました。途中道路も橋も段差ができてしまっていて、いつもは15分ぐらいのところですが、2時間かかりました。信号は停電で止まっているし、電柱は傾いているし、おそろしかったです」と語られます。

それもそのはず、宮城県栗原市は、今回の東日本大震災で一番震度が大きかった地域です。「でも、家に帰ったら、被害はなんにもなかったんです。クロスに少し亀裂が入ったぐらい。これは本当に安心しました」

奥様も、「私は職場にいたので、立つていられないぐらいの揺れで、怖かったです。でも周りに壊れている家もありましたが、ウチは地震の後片付けもなんにもなし。食器ひとつ割れてなかったです」と驚かれています。

S様邸は築32年、2008年に起こった岩手・宮城内陸地震では、今回より震度は低かったものの、外壁のしっくい割れたり、壁

が割れてタイルが落ちたり、浴室とトイレのタイルもほとんど落ちたそうです。そこで、新築を考えたものの、2世帯住宅で両親の「愛着あるわが家を壊したくない」という思いを受けて、「新築そっくりさん」に決めたそうです。

念入りに耐震補強を施し、リビングとキッチンの食器棚は壁に埋め込むなど、地震に強い家に生まれ変わりました。「担当者の方が信頼できたことも大きかったですね。耐震のことはすべて任せっきりでした。今回の地震でも、3月11日の当日に見に来てくださったって、うれしかったですね」とご主人は喜びます。



▶玄関扉の上に家取入りの特注ガラスを設置するなど、デザインにもこだわっています

2011年3月 宮城県栗原市・O様
東日本大震災

築56年、震度7の揺れでも
建物の被害なし



「外で作業中に揺れが来て、今までにないぐらい強い長い。地べたに座り込みながら、いつ終わるんだろうと震えていました」と、築56年の店舗兼自宅を再生されたO様。「でも家に戻ると、建物の被害はまったくなくて。耐震補強してもらってよかったですね。周りの家は屋根が崩れたりしているんで、工事前の家だったら瓦屋根で窓も多かったんで、崩れていたかもしれません」

2007年3月 石川県珠洲市・M様
能登半島地震

再生直後の古民家に大地震
工事箇所は被害僅か

築100年の古民家を再生直後に起こった能登半島地震。「揺れが大きくて本当に怖かったですが、工事した部分は壁紙が少し破れたりしたぐらい。工事してもらわなかった屋根の瓦が崩れ落ちたりして、全部工事してもらえばよかったと思うぐらいでした」



2004年10月 新潟県長岡市・S様
新潟県中越地震

築35年の家を再生直後に、
大地震。震度6でも被害なし

「信じられないぐらいの揺れで、正直もうダメかもしれないと思いました」とS様。ご近所では大きな被害を受けた建物も多かったそうです。「ただ我が家は幸いにも被害がなく、テレビが落ちたぐらい。<新築そっくりさん>の耐震補強のおかげだと実感しました」



東日本大震災後、
いち早くお客様のお宅を
訪問しました

東日本大震災の発生後、<新築そっくりさん>ではお客様のお宅を3月中に訪問。お住まいの状況を確認し、屋根に被害があった物件は、無償でブルーシートを取り付け、雨漏りを防ぎました。ミネラルウォーターの差し入れも好評でした。



新築そっくりさんのお客様が
大地震体験を語る。安堵の声“

「新築そっくりさん」で耐震補強を施した家は、地震でどうなるのか、実際に大地震を体験したお客様に伺いました。みなさん地震の恐怖は感じておられますが、口を揃えて「新築そっくりさん」の耐震補強の効果を実感されています。

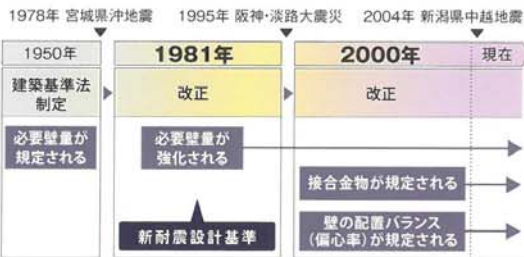
あなたの家は大丈夫？ 6つの耐震チェックポイント

今までの多くの大地震の経験から、強い住まい、弱い住まいの傾向は研究が進み、耐震診断という形で判定されています。在来工法の木造住宅では、次の6つの要素が地震への強さを測るポイントです。まず、新築時の書類なども見ながら、「自宅の耐震性をチェックしてみてください。」

① 建築時期

1981年に大改正、2000年にも改正された建築基準法で、耐震性の基準は上がっています

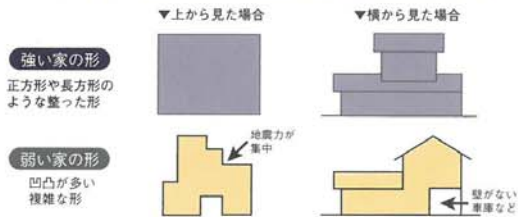
あなたの住まいは、いつ建築されましたか？



住まいは基本的には、新しいほど耐震性が高くなっています。というのも、大地震があると、家を建てる際に守らなければならない建築基準法の耐震基準が厳しく改正されるからです。特に1981年の必要な壁の量や軸組みの強化によって耐震性が大幅にアップしました。「新築そっくりさん」では、最後に建築基準法が改正された2000年以降の最新の設計と施工で確かな耐震補強工事を行っています。

② 建物の形

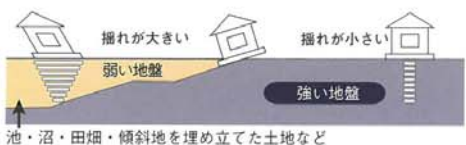
シンプルな箱形が地震に強く
凹凸が多い家や1階が駐車場の家は要注意



家の形は、正方形や正方形に近い長方形が地震に強い形です。家を囲む6つの面が一体となり、地震のエネルギーが平均して伝わり、全体で支えるからです。逆に、「L字形」「コの字形」、凸凹の多い複雑な形の場合は凹んだ入隅部分にエネルギーが集中しやすく、建物のゆがみやねじれが生じやすくなります。1階の一部が駐車場、2階が建物の左右に片寄っている、平屋建てに2階をのせて増築、などの場合も弱いとされています。ただ、そんな場合でも、壁の量を増やしたり梁や柱が補強されていれば強くなります。

③ 地盤・基礎

建物だけでなく、地盤や基礎も大問題
固い地盤に鉄筋コンクリート布基礎が強い



地盤が弱い場所ほど地面も上に建つ建物も揺れが大きくなります。特に海や川、池、沼、水田や畑を埋め立てた土地は地盤が弱い場合が多いです。山の斜面を削って土砂を埋め戻して平らにした造成地も弱くなります。自宅が昔どんな場所だったかは、図書館や昔の地図や、国土理院の「土地条件図」などで調べます。基礎も建物を支える重要な部分です。鉄筋コンクリート布基礎であれば強いですが、無筋だと弱くなり、玉石や石積、ブロックだとさらに弱くなります。

④ 壁の配置

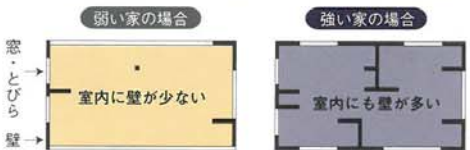
全方向が同じぐらいの割合の家が強い
壁のバランスが悪いと揺れが大きくなる



柱と壁で家を支える在来木造工法の建物は、地震の揺れに耐えるためには、壁がバランス良く配置されているかが重要です。建物の1階を中心から見ると、各方向に同じぐらいの割合で壁が配置されているかを見てみてください。四隅に壁がある家は耐震性が高くなります。北側が外壁に壁が多く内部も細かく仕切られているのに、南側は全面が窓で大空間の部屋があるといった場合は弱くなります。ただ、壁が少ない場所は、少ない壁を強くすることで全体のバランスをとることができます。

⑤ 壁の量

壁が多いほど地震に強くなる
壁が少なくても強い家をつくる補強も



建物は一般的に壁の量が多ければ多いほど地震に強くなります。1981年の新耐震基準でも、必要とされる壁の量が改訂され、それによって耐震性が大幅に上がりました。そして、壁の配置、量とならば、2000年には、接合金物(耐震金物)が規定されました。現在では、筋交いを入れたり、耐震金物や構造用合板を使ったりすることで、総合的に強くする補強を施します。右の3つを同時に行なえば、普通の壁の4.5倍もの強さになります。

⑥ 傷み具合

基礎や土台、柱や壁の腐朽は油断大敵
屋根から床下まで、この機に総点検



いくら新築時に強い家であっても、時間が経つことで老朽化し、構造上重要な部分が劣化してしまえば、耐震性は下がります。基礎や土台、特に老朽化しやすい浴室やキッチン、玄関まわりの基礎や土台が押し潰れていないか、羽アリのいないか、床下を確認してみてください。柱の傾きや、トビヤや扉の開閉めがしにくくなっていないか、屋根や軒先の線が波打っていないかも重要です。床が傾いていたり、たわんでいる場合も腐朽が進んでいる可能性があります。対策が必要です。

新築そっくりさんの耐震補強術

阪神・淡路大震災の被害を目的の当たり前にして、「新築や建て替えの半分の費用で、古い家を大地震に耐えられるよう一棟まるごと再生する」べく登場した「新築そっくりさん」には、耐震診断・耐震設計、耐震補強、防湿・防蟻（シロアリ対策）処理が含まれます。

1 現地調査・床下調査

項目	内容
建物名称	〇〇株式会社
所在地	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番
調査日時	〇〇年〇〇月〇〇日
調査者	〇〇
調査結果	白蟻 被害ありません
シロアリ被害	なし
床下高	低い(土台) 〇〇
基礎	〇〇
土台	〇〇
その他	〇〇



床下調査の結果は書面でわかります。シロアリ被害、水漏れ、雨漏れ、腐朽など、基礎や土台の状態が、しっかりチェックされています。

設計や工事にも詳しいセールスエンジニアがお宅へ伺い、部屋の広さや高さ、間取りを確認し、細部まで建物の傷み具合をチェックしていきます。さらに専門家が床下に潜って、シロアリ被害の有無など床下の状況を調べます。文字通り隅から隅までの調査です。

2 コンピュータ耐震診断



国土交通省の基準に準拠した、耐震診断専門のプログラムによる診断

現地調査の結果や現在の間取り、各部位の劣化度合など、数々のデータをコンピュータ入力し、お住いの建物の地震に対する強さを数値化して診断します。「建物の形や壁の配置」、「筋交いと壁の割合」など、前のページで紹介したチェックポイントがより専門的に数値で入力され、地震への強さが総合的に判定されます。

3 耐震設計



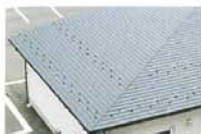
耐震設計で重要なのは、建物の重心（形の中心）と剛心（強さの中心）の距離の割合である偏心率を小さくすることです。それによって、揺れが小さく、ねじれが起きにくくなります。

耐震診断の結果を基に、弱い壁を耐震壁にする、壁を追加する、壁の配置バランスを良くする、屋根を軽くする、といった方法で地震に強い家を設計します。耐震性というハード面と、生活動線や明るさ、デザインというソフト面を両立させるため、両方に詳しいプロの視点が必要不可欠です。さらに、耐震設計は検査センターでも安全性を検査確認します。

4 耐震工事の一例



平形スレート葺（コロニアル）



ガルバリウム鋼板平葺



波形鋼板



軽量金属瓦

耐震補強金物

使用する耐震金物を常に更新、法律や公庫等の基準をクリアする品質を保ち続けています。

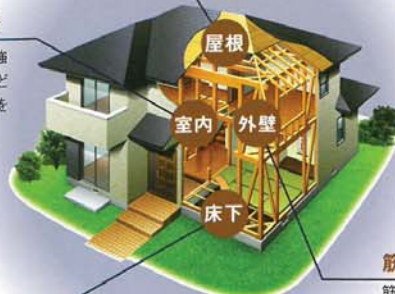


筋交い補強（耐震壁）

筋交いと、耐震補強金物、揺れに強い構造用合板を合わせて、壁を補強します。

耐震構造壁

壁が薄くて補強できない場合などは耐震構造壁を追加します。

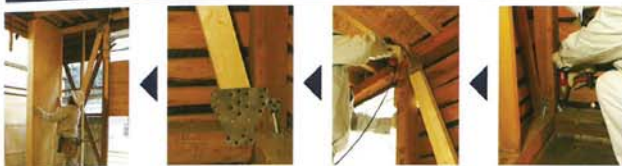


防湿・防蟻処理

床下の湿気による腐食を防ぐための防湿処理に加えて、シロアリを防ぐ防蟻処理も行います。



耐震壁工事の4ステップ（工事の一例、既存の基礎を活かした場合）



①柱を耐震金物で梁や土台に固定。
②筋交いを耐震金物で梁や土台に固定。
③場所により様々な耐震金物を選択して使用。
④断熱材を入れて、構造用合板を取り付け。

当社独自の検査体制

当社では、耐震補強工事（※1）を実施する現場（※2）について専門の検査員が、巡回の上、施工確認を行っています。



※1 耐震補強工事は大規模地震時における人命の確保を最優先として、建物の倒壊を防ぐことを目的としており、建物の損傷、家具の転倒を防止するものではありません。また、地震に起因する地盤の隆起・沈降や土砂崩れなどによる倒壊、損傷を防ぐものではありません。

※2 検査対象は当社の基準を満たす現場となります。

メニューさまざま経験豊富な 新築そっくりさんの「耐震実例」

数々の大地震で実証されたように、豊富な経験と対応力を持つ「新築そっくりさん」の耐震補強は大地震にも耐えられるよう設計・工事されています。そして、快適さやデザイン面でもお施主様のご要望以上の提案をし続けています。

ガレージ補強

ガレージの天井から補強し直し構造にも手を入れた、シンプルモダンな家



地震に弱いとされるガレージ上に住居がのった構造で、「耐震診断で震度5でも危険」と判定された、東京都・T様邸。ガレージ天井の補強、12カ所の耐震壁などで強化しました。コンクリートやミラー、ステンレスといった無機質な素材を効果的に使ったシンプルモダンなデザインも光ります。

基礎補強

築150年の古民家が、基礎を打ち、構造を補強して、あと100年耐えうる家に



老朽化が激しかった長野県・M様邸。床板をすべて抜き、柱を支える束石をコンクリートに替え、基礎も打ち直すなどで、越深く強い古民家に生まれ変わりました。

2階増築

平屋の外壁を1度取り払って通し柱を入れた、安心の増改築



床下が腐食して床がひずんでいたため、床下はコンクリートで固め、土台も補強されました。息子さんのご結婚を機に、平屋の上に2階を増築された栃木県・Y様邸。ただ2階をのせると耐震性が低いため、骨組みだけに解体して2階までの通し柱を入れ、11カ所の耐震壁を。新しい外壁はツートンのサイディングで明るくモダンになりました。

構造柱

耐震性を高めるため、窓を壁に変え、構造柱を利用してAVコーナーに



重い瓦屋根を軽い金属ルーフに替え、バスタイルエアーにして和から洋へイメージチェンジ。

新潟県中越地震を機に耐震性を見直して再生された新潟県・N様邸。和室をひとつ取り払って広々LDKを実現するため、窓で耐震性が低かった壁を耐震壁に補強し、構造柱も壁にして大型テレビが入るAVコーナーに変身させました。



屋根葺き替え

瓦と土で42トンあった屋根は1.3トンの銅板葺きで1/30の軽さに



床下に湿気がたまりやすかったため、床下の隅々まで空気が流れる全周換気を設置しました。

老朽化を機に築90年の古民家をまるごと再生された福島県・E様邸。土の上に瓦を葺き、42トンもあった屋根が建物に負担をかけていることがわかり、銅板葺きで30分の1に軽量化し、土台の交換や構造補強も加えて、耐震性は大幅に上がりました。

「新築そっくりさん」
実例

築60年

安心で快適に
暮らせる性能と
伝統家屋の住まい



「新築そっくりさん」
実例

築40年

明るく広々、耐震、
バリアフリーにも
配慮した家に一新



まずは、無料建物診断から始めませんか？

古い住まいを本当に再生できるのか？ それとも傷みがひどくて建て替えをしなければいけないのか…。
まずは、私たちがしっかりと診断させていただきます。

1 床下調査

床下から、基礎や土台の状況やシロアリ被害の有無などを確認、診断します。



2 屋根調査

老朽化による割れや傷み、サビなどをチェックします。



3 総合診断

レーザー測定器で床や柱の傾斜をみたり、雨漏りの有無など、全体を診断します。



4 耐震診断

建物の地震に対する強さをコンピューターで数値化して診断します。



安心の8大特長

まだ使える基礎や柱を活かすことで、建て替えや部分リフォームよりも優れる数々のメリットを実現しています。



- 1 建て替え費用の半額^{※1}**
オリジナル部材の開発、大量発注によるコスト圧縮により、コストダウンを実現しています。
- 2 追加費用のかからない完全定価制^{※2}**
工事着手後に予想外の不具合が判明しても、追加費用は一切いただきません。
- 3 大地震に備え安心の耐震補強^{※3}**
建物全体をバランス良く補強し、防蟻・防湿処理も行いながら地震に強い家に生まれさせます。
- 4 住みながら工事で引越不要^{※4}**
各ゾーンごとに工事を行うので、何かと面倒な引越を省ける「住みながら工事」が特長です。
- 5 経験豊富な専属の施工統括者**
豊富な知識と経験を持つベテラン棟梁が、お客様のご意見を伺いながら大切なご自宅を工ります。
- 6 ご相談からお引渡しまで一貫して担当**
現地調査、設計、施工管理から完成まで、一貫して一人のセールスエンジニアがお客様を担当します。
- 7 独自の充実した検査体制**
専門部門が耐震補強や構造躯体について、住友不動産の厳しい品質基準を満たしているか検査します。
- 8 住友不動産ならではのお客様センター／アフターサービス**
24時間365日受付の「お客様センター」や、定期点検でアフターケアも万全です。

※1 当社比。 ※2 お客様のご要望による工事内容の変更がない場合に限ります。 ※3 一部の建物を除きます。 ※4 お住まいの状況により実施できない場合がございます。